

# Green Plan Chapter 6

## 第6章 緑の重点プラン



# 第6章 緑の重点プラン

本計画の策定にあたっては、「南アルプス市緑の基本計画 市民懇談会」を開催し、様々な意見交換や議論を経て、最終的に「みどりのまちづくり市民プラン」としてまとめ、市長に提言を行いました。

このなかで、「活動の小さな芽を育て、今できることからはじめよう！」と題し、多様な市民活動を結びつける「みどりの市民ネットワークづくり」と「次世代へ引き継ぐ緑の環境教育の推進」をテーマとした重点プランの提案がなされています。

この市民の提案を受け止め、計画の推進、緑の市民活動の一層の促進を図るため、次の2つの取り組みを重点的に推進していきます。



○みどりのまちづくり市民プランの提出

## 1. 多様な市民活動のネットワーク化とその核となる場づくり

市内では、「さくらを育てる会 2001」などの市民団体やボランティアサークル、小学校単位で組織化された「緑の少年少女隊」、甲西バイパスの緑化を行っている「ボランティアサポート」、そのほか、社会福祉協議会や自治会など、様々な人々が植樹や花植え、街路樹の管理、清掃などの活動に関わっています。

しかし、お互いをあまり知らず、この緑に関する多くの機運の芽を活かしきれていないのが現状です。

そのため、まずはこれまでの活動や成果を把握し、おのおのの活動が手をたずさえ市全体へ波及するよう、次のような多様な市民活動のネットワーク化とその核となる場づくりを推進します。



### (1) 「(仮) 南アルプス市みどりの市民ネットワーク」の形成に向けた検討

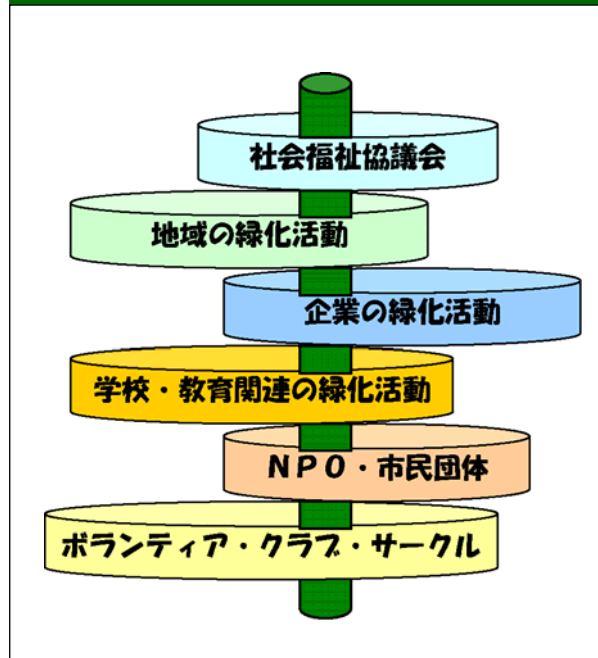
現在活動している様々な市民団体やボランティアサークル、企業、個人などに呼びかけ、「(仮) 南アルプス市みどりの市民ネットワーク」への登録を行うなど、緩やかなネットワークづくりを行います。

呼びかけの主体や手法、登録の方法、活動情報の整理などについては、たとえば、次の「(仮) みどりのサポートセンター」を設立する際の、準備会のような集まりで話し合うことが考えられます。



○市民懇談会ワークショップ風景

#### ■みどりの市民ネットワークの考え方 —今ある活動を共通の理念で結びつける—

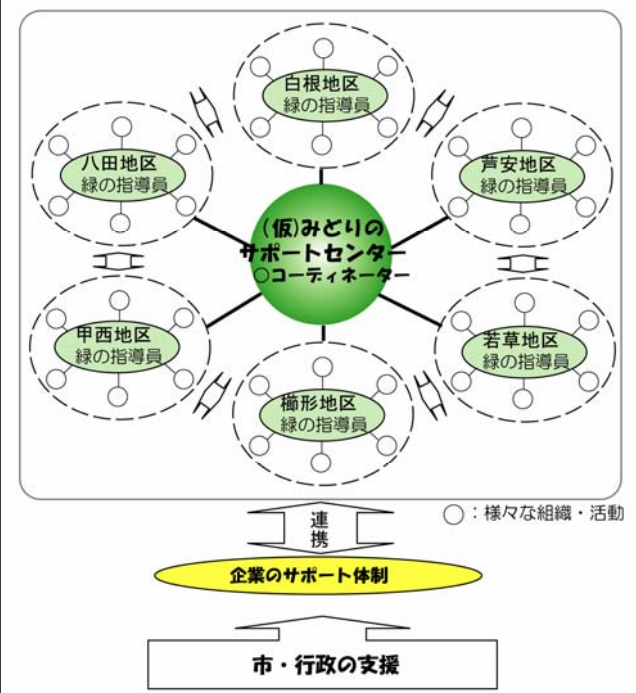


**(2) 「(仮)みどりのサポートセンター」の検討**

「(仮)南アルプス市みどりの市民ネットワーク」の核として、みんなが集まって話し合える場、情報交換の場となる「(仮)みどりのサポートセンター」の設立に向けた検討を図ります。

実現するためには、活動場所の確保や施設の維持管理、センターの機能・役割や運営方法、呼びかけから設立までのプログラム、市の連携支援のあり方、緑の専門家やコーディネーターの人材派遣など、様々な課題が考えられますが、市民と話し合いながら、一步一步実現に向けて取り組みを進めます。

■「みどりの市民ネットワーク」と核となる場のイメージ



**事例**

●市民活動のネットワーク化  
—花みどり市民ネットワーク—  
[兵庫県神戸市]

〈基本方針〉

神戸のまちと自然を愛する人々が、花と緑のまちづくり・ひとづくりを進めるため、連携・支えあえる仕組みです。花と緑の楽しみと人の輪を広げ、幅広い緑化活動に関する情報を活かしながら、花と緑に関わる活動をしている個人、団体間の協力を進めていきます。



情報の共有化による「ゆるやかなネットワーク」を形成

|                                      |
|--------------------------------------|
| ①ホームページの開設 ②情報誌の発行 ③サロンの設置 ④事務局機能の設置 |
| ↓                                    |
| 〈広報〉それぞれの活動のPR                       |
| 〈コーディネート〉(発案)・企画、しかけ、イベント提案          |
| (需要)・活動への参加呼びかけ、支援要請、相談              |
| (供給)・マンパワー、知恵、資材、資金の提供               |
| 〈交流〉なかまづくり、意見交換、楽しみの共有               |
| 〈研鑽〉講習会、研修会等の企画・実施                   |

|                                   |
|-----------------------------------|
| ①花と緑のひとづくり                        |
| ・「花」「緑」「自然」が好きな人の発見、交流を進めていく。     |
| ・ボランティア組織の継続と自立を支援していく。           |
| ・コーディネーターを育成する。                   |
| ②花と緑のしくみづくり                       |
| ・需要と供給の公平で効率的なコーディネートを行う。         |
| ・まちづくり、イベント等の機会を共有する。             |
| ・市民活動と行政側のサポートのマッチングを行う。          |
| ③花と緑のまちづくり                        |
| ・市民主体のまちづくりの中で、積極的に花と緑を取り入れていく。   |
| ・地域活動としての花壇づくりやはなみどりの管理を充実させていく。  |
| ・自然を守り、育てる活動を盛りあげ、身近な里山づくりなどを進める。 |

花みどり市民ネットワーク

- ①ボランティア団体
- ②専門家
- ③緑化活動企業
- ④緑化活動に興味がある個人

各団体の自主的活動  
地域での花緑の活動  
花緑の講習やイベント

事務局

〈パートナーシップ〉  
☆花と緑のまちづくり  
☆花と緑のひとづくり  
☆花と緑のしくみづくり

行政

支援

支援

支援

連絡調整・支援

支援

派遣

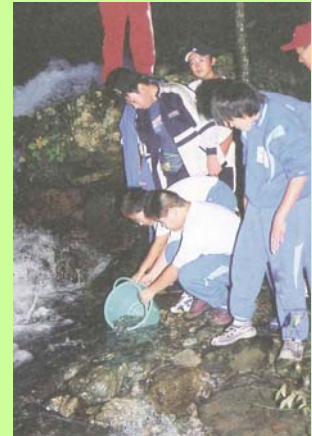
支援



## 2. 緑の環境教育の推進

市内では、総合学習の一環として学校が企画し市が支援する形で、市内の小学校を中心とした「緑の少年少女隊」や、中学校生徒による学校や公共施設の植樹、学校林を活用した苗木の植え付け、間伐や雑草取りなどの自然体験、自然パトロール（清掃、空き缶拾いなど）、イワナの放流、ホタルの飼育、県民の森を活用した森林インストラクターによる自然観察会など様々な環境学習が活発に行われています。また、個人有志による子どもたちへの自然体験活動（川遊び、野遊びなど）も行われています。

本計画の将来像に掲げた「未来の子どもたちに伝える花と緑のふるさとづくり」を実現していくためには、未来を担う子どもたちや今を生きる大人たちが、緑や自然の大切さを理解し、豊かな感性を育てていく「環境教育」の推進が最も重要であるという認識に立ち、次のような環境教育への重点的な取り組みを推進します。



○イワナ放流  
（白根巨摩中学校）

### （1）学校と連携した環境教育プログラムの充実と活動の推進

これまで各小中学校で行われている植樹などの緑化活動、自然体験、自然パトロールなどに加えて、前出の「水辺の楽校プロジェクト」をはじめ、ピオトープづくり、農業体験、森づくり、遊びを通じた自然体験（川遊び、野遊び等）など、多様な環境教育プログラムの検討・充実を図ります。

また、教育にたずさわる側（学校や教育委員会等）や父兄、地域などの協力により、子どもたちが安全に活動できるような体制づくりと実践活動を推進します。



○学校ピオトープ（若草南小学校）

### （2）生涯学習における環境教育プログラムの充実と活動の推進

学校教育のみならず、生涯学習などを活用して市民が自然や緑、環境について体験・学習できるよう、前出の「グラウンドワーク」をはじめ、森づくり、自然観察会、市民大学など、市民が関心を抱くような特色ある環境教育プログラムの充実を図るとともに、その活動の推進を図ります。



○植樹祭

### （3）環境教育における人材育成

環境教育のより一層の推進を図るため、市内に在住する自然や動植物、農業や園芸、ガーデニングに詳しい人材を活用し、「緑の指導員」や「森林インストラクター」などのリーダーや、子どもたちに遊びを通じた自然体験（川遊び、野遊びなど）を教えてくれるプレイリーダーの育成を図ります。



○芦安山岳館での環境教育

## （４）環境教育の場づくり – 地域資源の有効活用 –

土地所有者や施設管理者等の協力により、次のような地域資源を活用した環境教育の場づくりを推進します。

### <例>

- 社寺林や学校林、樹林地など身近な森（雑木林）の間伐や下草刈り、クズバ退治など
- 樹園、水田等の生物観察や農業の手伝い、棚田の保全活動など
- 河川や水辺での生物観察やホタルの飼育、魚の放流など
- 休耕地への花植え、作物栽培など
- 公園、河川、公共施設等への植樹、花植えなど
- 施設の未利用地を活用したビオトープ池づくり



○さくらんぼ収穫体験

## （５）環境教育の啓発と推進に向けた仕組みづくり

環境教育を推進するために、環境教育に関する各種啓発活動の推進と仕組みづくりを図ります。

### <例>

- モデル的な環境教育プロジェクトの実施、その成果のPR
- 市の広報やみどり専用HPによる環境教育プログラムの紹介と参加募集
- ふるさと学の実施（市の緑を知る・学ぶフィールドワーク）

### <仕組みづくり>

- 「(仮)南アルプス市みどりの市民ネットワーク」、「(仮)みどりのサポートセンター」の早期設立と環境教育活動との連携づくり
- 環境教育活動に対する市の技術的・人的支援、助成
- その他  
市の木・地域の木の募集、緑化奨励制度（樹木三本制度）の設置、緑の市民管理制度の充実、環境教育活動に関する表彰制度の検討など



### 事例



- 音による里山の体感  
・森の音地図づくり [千葉県千葉市]



- 子供のための環境教育  
・森の調査隊 [千葉県千葉市]



●南湖小学校



●檜形北小学校



●白根源小学校

掲載の絵は、「小学生アンケート調査」（平成17年11月～18年1月実施／市内全小学校5年生対象）で、自由記入に描いてくれた子どもたちの絵から抜粋しました。